

東日本大震災ニュース

= 祈りのきずな =

4月12日現在までの震災に関するニュースです。連盟の災害対策に関する情報は、連盟ホームページにて日々更新しています。

<http://www.bapren.jp/>

被災地の教会

あの大震災から一ヶ月目の4月11日。被災地の教会では、地震発生時刻に合わせて祈り会が開かれ、夕べには犠牲者を偲ぶ黙想と讃美の催しが開かれました。そこでは「犠牲者を悼む祈りと共に、私たちはこの過酷な現実の中でおしつぶされそうではあるけれども、希望は失われていないということ、また次の生命に希望をこそ語り継いでいかなくてはならない」という決意と神への信頼が分かち合われたということです。

今回の大震災では、連盟関係の教会員では犠牲者こそ出なかったものの、津波によって愛する肉親を失ったり、家や職場を流された方が何人もおられます。原子力発電所事故による放射能飛散の影響が心配される地域では、子どもや妊娠されている女性たちをはじめ、見えない不安が人々の心に大きくのしかかっているといえます。先日の大きな余震では、せっかく片付けた家の中が再び散乱し、「もう勘弁して欲しい」と、精神的に大きなダメージを受けたという声をいくつも耳にしました。



▲4月11日 震災1カ月をおぼえてもたれた報告と祈り会（連盟事務所）

支援活動の展開

連盟は、震災後一ヶ月を「被災地の命を支える救援期間」と位置付け、北関東地方連合や東京地方連合と協働して、震災の翌週から被災地への支援物資搬送を始めました。片道400kmから700kmの距離を、多くの場合日帰りで搬送するという厳しい働きでしたが、震災の翌週からほぼ毎日（4月9日まで20回）、全国から寄せられた支援物資と祈りを積んだ車が派遣されていきました。

4月12日以降は、第二期「被災者の生活を支える期間」と位置づけ、まだ物資の行き渡っていない被災地域（三陸沿岸部）への支援物資搬送や避難所への炊き出し、こころのケアなどの活動を展開してい



▲全国から寄せられた支援の品々を運ぶ

く予定です。

被災地では深刻なガソリン不足のために互に行き来することができずにいましたが、先週4日によろやく仙台地区の教会、東北地方連合の役員、そして連盟災害対策本部などが一堂に会する場をもち、情報交換と共に今後の協働の可能性について協議することができました。これから少しずつ、各々の教会のカラーを活かした形で、被災地に建てられたキリストのからだとしてのミニストリーに取り組んでいかれることと思います。連盟はそれらの活動を、後ろから支えていきたいと考えています。



▲仙台地区教会・東北連合役員会・連盟災害対策本部合同の協議会（南光台教会）

募金使途の修正

3月末時点で理事会は募金目標額を5000万円に修正し、その使途の目安を設定しましたが、その後、被災教会員の被災状況、建物補修費用の概算などが少しずつ判明し、被災地教会の支援活動の展開への期待、あるいは被災地を直接支援するルートの開拓などが可能になってきたこと等を勘案して、以下のように募金使途の目安を修正することになりました。なお募金は4月12日現在で、海外からの献金（約1000万円）を含めて3250万円となっています。篤い祈りと献金をおさげくださった皆様に感謝すると共に、実に多くの海外の兄弟姉妹が、日本を覚えて祈りを寄せてくださっていることを覚えてほしいと思います。

①被災教会・教会員へのお見舞い／教会建物支援

…1500万円

被災地の21教会・伝道所にお見舞いをお渡ししました。近日中に連盟による建物診断を行い、必要な建物支援をしていきます

②被災地支援

…2500万円

被災地教会を通して、あるいは被災地に直接支援をしていきます

③現地スタッフ／ボランティア活動費、事務局費

…1000万円

被災地が広範囲のため、スタッフとボランティアの活動を支える自動車や保険、拠点確保などの費用が必要です

対策本部の改編

4月11日には災害対策本部の改編を行い、本部長・奥村敏夫、副本部長・加藤誠、事務局長・野口哲哉、委員・金子千嘉世、奥田稔、濱野道雄、村上千代の7名で本部会議を構成することになりました。

（常務理事 災害対策副本部長 加藤 誠）



▲南光台教会では憩いの場やシャワー室を提供。

祈りの課題

- 震災から一ヶ月を迎え、悲しみや痛みに加えて、さまざまな疲れの中にある一人ひとりの上に、主の慰めと支えがあるように。
- この受難節、被災地にある方々と共に、十字架を担われたイエス・キリストの救いと慰め、そして希望の福音を聴きとっていくことができるように。
- 原子力発電所の放射能飛散の事故が一刻も早く収束に向かうように。
- 被災地に立てられている教会、主の働き人の働きが守られ、主の御栄えのために用いられるように。

【東日本大震災緊急救援募金のお願い】 目標総額5000万円〔期限：2012年3月末まで〕

送金先：郵便振替 00140-9-180881 「宗教法人日本バプテスト連盟総務部」

※東日本大震災募金と明記してください（東北地方太平洋沖地震募金、東北関東大震災でも結構です）。
※募金は極力教会でまとめて送金ください。海外からの募金は別口座です。総務部までお問い合わせください。

募金の使途の目安は次の通りです※

- ①被災教会・教会員へのお見舞い／教会建物支援… 1500万円
- ②被災地支援 … 2500万円
- ③現地スタッフ／ボランティア活動費、事務局費… 1000万円

※募金の使途につきましては『バプテスト』誌5月号8ページ（4月13日発行）掲載の内容から最新のものに修正されています。



震災募金ポスターは、連盟ホームページから印刷できます。

